

3 - 2 届出データを対象にした集計結果の概要

3 - 2 - 1 物質別（ダイオキシン類を除く）とりまとめ

（1）県全体の物質別（排出量上位10物質+その他）の排出量とその全国順位及び全国比

対象事業所から届出のあった県全体の総排出量は、12,547トンであった。これは、国がまとめた総排出量313,733トンの4.00%であった。

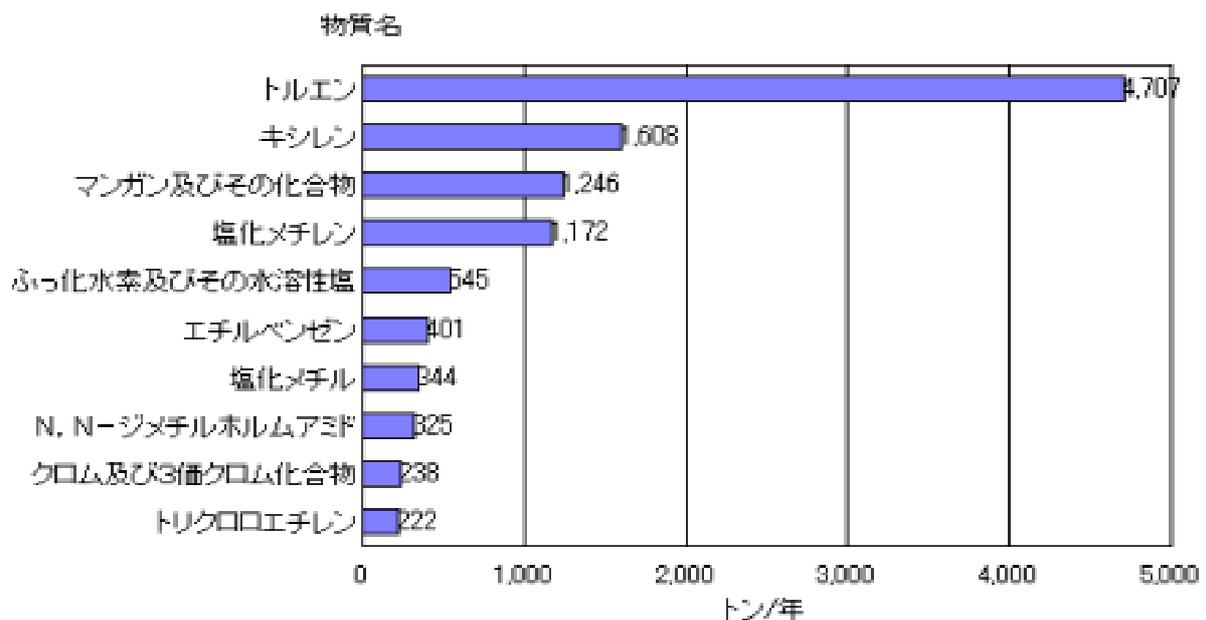
物質別の届出事業所数・排出件数・移動件数、物質別の排出先別排出量について、その詳細を資料編に掲載した。

そのなかから物質別に排出量上位10物質の排出量をまとめたのが、図3-4である。

汎用化学物質であるトルエン、キシレンが1位、2位を占めていた。これは国が集計・公表した結果と同じ傾向を示していた。

以下、マンガン及びその化合物、塩化メチレン、フッ化水素及びその水溶性塩、エチルベンゼンと続いていた。

図3-4 県全体の物質別（排出量上位10物質+その他）の排出量



兵庫県下で排出された上記の排出量上位10物質が全国的にどのレベルにあるかをみるため、その全国順位及び全国比を整理したのが、表3-5である。

フッ化水素及びその水溶性塩及びクロム及び3価クロム化合物が全国順位1位で、それぞれ、全国の13.44%、35.26%を占めていた。

また、マンガン及びその化合物の兵庫県の排出量は、全国の排出量として2位で、全国比で見ると26.86%となっていた。

これらの排出は、県下に電炉メカ、機械器具製造業が多く立地していることに起因しているものと推測された。

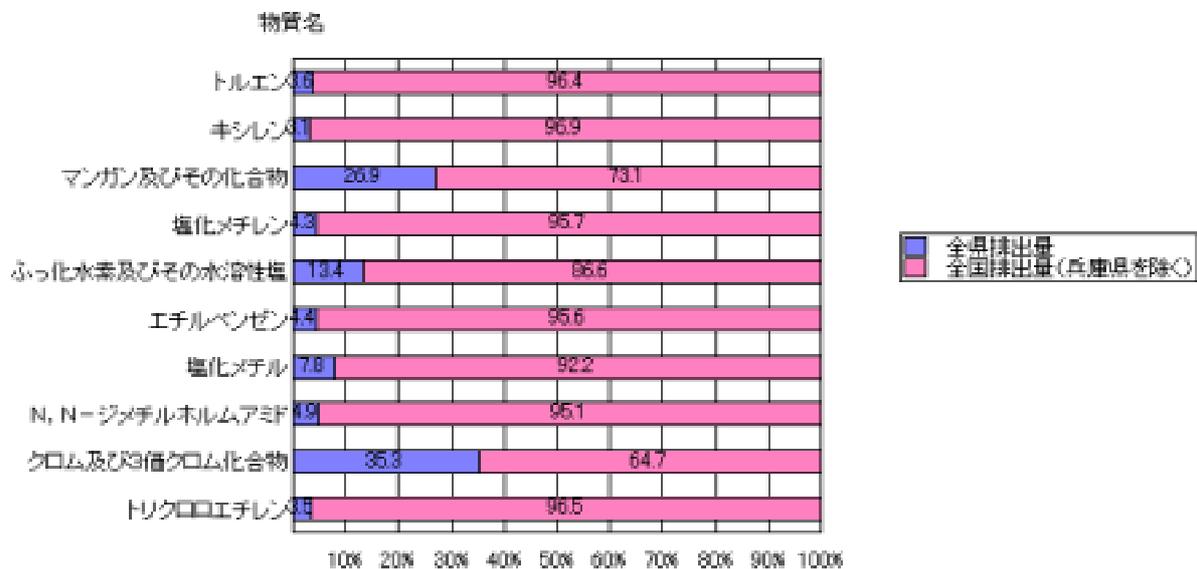
一方、排出量の最も多かったトルエン、第2位のキシレンを全国的にみるとそ

れぞれ7位、13位で、全国的な割合でもそれぞれ3.57%、3.07%であった。

表3-5 排出量上位10物質の全国順位及び全国比

排出量上位物質		全県排出量	全国排出量	全国比	順位
物質番号	物質名	(t/年)	(t/年)		
227	トルエン	4,707	131,796	3.57%	7
63	キシレン	1,608	52,427	3.07%	13
311	マンガン及びその化合物	1,246	4,638	26.86%	2
145	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	1,172	27,136	4.32%	7
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	545	4,053	13.44%	1
40	エチルベンゼン	401	9,118	4.4%	7
96	クロロメタン(別名塩化メチル)	344	4,425	7.76%	6
172	N,N-ジメチルホルムアミド	325	6,606	4.92%	7
68	クロム及び3価クロム化合物	238	675	35.26%	1
211	トリクロロエチレン	222	6,322	3.52%	12
上記以外の対象化学物質		1,740	66,576	2.61%	
合計		12,547	313,773	4.00%	

図3-5 排出量上位10物質の全国比



(2) 県全体の物質別(移動量上位10物質+その他)の移動量とその全国順位及び全国比

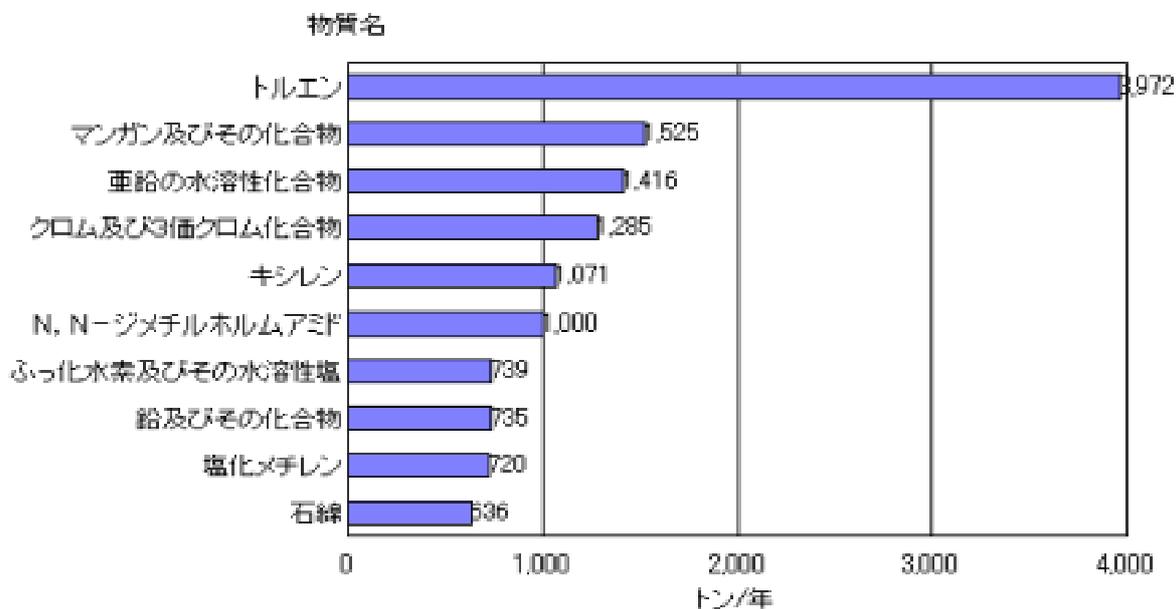
対象事業所から届出のあった県全体の総移動量は、17,441トンであった。これは、国がまとめた総移動量223,280トンの7.81%であった。

物質別の移動先別移動量について、その詳細を資料編に掲載した。

そのなかから物質別に移動量上位10物質の移動量をまとめたのが、図3-6である。

汎用化学物質であるトルエンが1位を占めていたが、排出量で2位となっていたキシレンは5位となっていた。換わって2位となったのはマンガン及びその化合物であった。

図3-6 県全体の物質別（移動量上位10物質+その他）の移動量



兵庫県下で移動された上記の移動量上位10物質が全国的にどのレベルにあるかをみるため、その全国順位及び全国比を整理したのが、表3-6、図3-7である。

亜鉛の水溶性化合物、ふっ化水素及びその水溶性塩が全国順位1位となっていた。また、トルエン、N, N-ジメチルホルムアミドが2位となっていた。その他の物質も3位、4位と上位を占めていた。

表3-6 移動量上位10物質の全国順位及び全国比

物質番号	移動量上位物質 物質名	全県移動量 (t/年)	全国移動量 (t/年)	全国比	順位
227	トルエン	3,972	44,971	8.83%	2
311	マンガン及びその化合物	1,525	19,158	7.96%	3
1	亜鉛の水溶性化合物	1,416	7,007	20.21%	1
68	クロム及び3価クロム化合物	1,285	12,665	10.14%	4
63	キシレン	1,071	13,099	8.18%	4
172	N, N-ジメチルホルムアミド	1,000	9,925	10.08%	2
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	739	6,892	10.73%	1
230	鉛及びその化合物	735	9,340	7.87%	3
145	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	720	10,033	7.17%	4
26	石綿	636	4,159	15.3%	3
上記以外の対象化学物質		4,342	86,030	5.05%	
合計		17,441	223,280	7.81%	

図3-7 県全体の移動量上位10物質の全国比

